

2019
5
 May Vol.38

JAしまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 繁殖牛」 隠岐地区本部



「馬入水神争」
 玉若酢命神社 (隠岐の島町)

Naomichi



島根には誇れる農産品がたくさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

隠岐の島町 繁殖牛

5月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で、繁殖農家として肉用向けの子牛生産に取り組む、都万地区の野津賢三郎さん、田中修司さん親子のほか、町内における畜産業の現状を隠岐地区本部の広兼経済部長に伺ってきました。

隠岐地域では和牛の生産を重点的に支援しており、県全体の頭数が減っている中、町内では増頭。数年前までは米の出荷額が1番だったが、現在では和牛の販売額が倍になるほど盛んになっている。平成23年頃からは地元の建設会社が畜産事業に参入し繁殖牛が増加。全国各地から隠岐の元気な子牛を求めて買い手が集まり、町内全体で年間350頭前後の子牛を出荷している。5、6年前からは遠く茨城県などからも市場に訪れる企業があり、高値で取引。若い就農者をはじめ町内を挙げて増頭を図っている。本日も紹介する就農者は町内の畜産業を長きにわたって担うことが期待される30代です。



強健な親牛から生まれる子牛が高い評価を受けている。



田中さんの牛舎と運動場。右が生産拡大を見据え、JAの支援を受け新設された牛舎。



様々な想いを胸に、親子二人三脚で。素敵な田中さん親子。

遺志を受け継ぎ、親子2人3脚で

とても明るく気さくな田中さんと母の美砂子さん。祖父が数頭の繁殖牛を飼育しており、他界した兄と繁殖農家として経営を拡大することが夢でした。その遺志を引き継ぎ、田中さんと母の2人で繁殖牛を徐々に増やしています。現在は32頭の繁殖牛がおり、子牛を年に20頭余り出荷しています。

お産の立会いは夜中にも

何回かお産を経験した牛でもお産には細心の注意が必要です。お産専用の牛舎にはカメラを取り付け、逆子になつていないか、大きくなりすぎて難産にならないかなど入念に牛の状態をチェック。夜中だろうが早朝だろうが牛舎に駆け付けてお産に立会い、授乳がうまくいったのを確認してからようやく牛舎を離れます。人と一緒に親の乳を飲ませると免疫力が強くなるので牛の性格を見極めながらたくさん乳を飲ませるよう心掛けています。また牧草を育てていますが、雨に当てずに全量収穫しなければならぬほか、昨年は天気の関係で2番草が取れず、止むを得ず牧草を購入。頭数も増えたことにより、餌のコストも増加し、冬場の粗飼料不足をどう解消するのが現在の課題となっています。



お二人の愛情とたゆまぬ努力が元気な子牛を育てているのだと確信しました。

小さくても足腰の強い元気な牛。ありがとうの気持ちまで

放牧で育つ強健な親牛から生まれる子牛は、風邪や下痢などの病気に強く、将来的に肉用牛として立派に育つと評判の隠岐の子牛。母の美砂子さんは牛を出荷する時にお神酒をかけて「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れません。修司さんは感謝の気持ちとともに、兄と夢を描いた法人化を見据え50〜60頭を飼育する計画を進めています。

レンズを向けると寄ってきてくれる、元気で人懐っこい母牛たちも、とても印象的でした。



脈々と受け継がれる畜産への想いと、隠岐の畜産の未来を感じることができる取材となりました。

「牛突き」との二頭流

以前は建設会社に勤務していたという野津さん。公共事業の削減で仕事が減少していくのを目の当たりに。何かしなければと思い、長らく伝統文化の「隠岐牛突き」に携わっていたことから、8年前から繁殖牛を飼育。現在は地元の観光協会スタッフとして闘牛を飼育し、月に10番程度の牛突きの取り組みをするかたわら、放牧と牛舎を利用して子牛を生産しています。



優しさ溢れるお人柄に、「二頭流」の先にある成功が見えた気がしました。

365日の飼育に課題

一人で繁殖牛9頭を飼育している野津さん。冬場以外は種付けされ受胎確認ができた繁殖牛を公共牧野に放ち、生産された子牛や授乳中の親牛等は牛舎で飼育。子牛は半年から8カ月位になったら年3回ある家畜市場に出荷しています。

繁殖牛

一口メモ

隠岐地域で最重要品目である和牛の出荷。島前・島後の4町村で盛んに生産を進めており、隠岐の島町は出荷額で知夫村を抜き、西ノ島町に次いで2番目の出荷額まで拡大している。各4町村で開いている家畜市場には茨城県から長野県、福岡県等から企業数十社・個人など全国各地から子牛を買いに訪れ、活況している。放牧を取り入れ、生まれた子牛は飼料を食べさせてから授乳するなど、腹づくりを徹底。1頭当たりは決して大きいほうではないが、牛の将来性を見込んで、キ口単価に換算すると高価格で取引されている。



手探りながら、様々なことを前向きに考え、繁殖に携わる姿が真っ直ぐで、とても素敵でした。

毎日、繁殖牛や子牛への餌やりのほか、体調に変化が無いかなど、元気な子牛を生産・飼育するため、365日牛舎を離れることができません。離島ゆえに、研修などで出張する際には宿泊する必要も。止むを得ず留守にしなければならぬ時は知人に管理を頼んだりしますが、気兼ねなく出かけることができるよう、ヘルパー制度などがある。

れば、と関係機関に要望しています。今後は現在の9頭から15頭まで増やしていく計画で、牛舎をJAの農業振興支援事業など受けて新たに1棟を建設。約800年前、後鳥羽上皇をお慰めするために始まったとされる「隠岐牛突き」の継承を続けながら元気な子牛を生産しています。広兼部長によると、冬場の粗飼料不足や自給飼料の確保のため、休耕田など活用し稲発酵粗飼料(WCS)用の稲を町内で約40haほど栽培。そのうちの半分はJAで刈り取り、支援を続けています。また担い手確保のため、就農しやすい環境作りにも着手。今後はヘルパー制度などの仕組みづくりなど前向きに検討しているところだ。こうした環境整備と新規就



JAの支援を受けて新設された牛舎。飼育環境を考え、様々な工夫が施されていました。

農者の確保の両輪を回し、隠岐の畜産振興につなげていきたいと熱くお話をいただきました。

雲南地区本部 青空市ぶなの里



産直へようこそ!!

可成り産地が地域の特産品「JALまね 島根県内の産直店舗を」紹介します。



飯南町を走る国道54号線沿いの「道の駅頓原」に隣接する「青空市ぶなの里」。その歴史は、地元農家の女性グループが中心となってテントで農産物の販売を開始したことに始まり、今年の3月には開設25周年を迎えた。

店内にはとれたての農産物などが並び、取材で訪れた日も地元の生産者さんが朝収穫したばかりの肉厚な原木シイタケを並べていた。生産者と直接会話して、おすすめのお味方を教えてもらえるのも産直の魅力だ。

同直売所には出荷会員の顔写真が並べられているが、出荷会員数は増加している。本田啓子店長は話す。ぶなの里の戸田雅之会長が、周辺の生産者やイーターの新規就農者へ声を掛け出荷を促したことで、以前は70人程度だった会員も今では102人が登録するまでになった。その結

ぶなの里といえば野菜苗！5月は軒先にも苗が並び(写真は昨年)



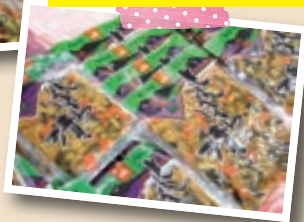
店内には出荷会員の皆さんの顔写真がズラリ

果ぶなの里は、一般的には出荷量が減少しがちになる冬場をはじめ、1年を通して新鮮な農産物が安定して売り場に並び直売所となった。「今でも定期的新しい写真を追加するんですよ」と本田店長は笑う。

おなじみの苗物が売り場に並び、標高が高く昼夜の寒暖差が激しい当地で育つ野菜苗は、丈夫で多収量だと評判だ。苗物は同産直で一番の売り上げを誇り、松江や出雲などはもちろん広島からも多くの人が上質の苗を求めて訪れる。

そのほかには、地元で採れた食材で作られる豆腐、漬物、味噌、お餅などここでしか買えない逸品もたくさん。手作りの手芸品コーナーも充実していて、「ここのお店は楽しいね」と来店者に好評だ。また季節ごとに、山菜の天ぷらやぜんざいなどを販売するイベントも開催される。

頓原といえば漬物と味噌。手芸品も一点ものが並び。



「目指すのは顔が見える直売所！」と話す本田店長



所在地：島根県飯石郡飯南町花栗48 道の駅とんぼら隣
 営業時間：5～10月 8:00～17:30
 11～12月 8:00～17:00
 1～2月 9:00～16:00
 3～4月 8:00～17:00
 定休日：年末年始
 TEL：0854-72-1530



JA 自己改革 実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

山下勇人さんは3年前に大阪市から安来市に1ターンし、平成30年9月に安来市の特産であるイチゴの栽培を開始しました。現在、経営面積は7アールで、土耕栽培により「紅ほっぺ」を生産しています。

パイプハウスや高設ベンチなどの施設は、国・県の補助事業とJAしまね農業振興支援事業、やすぎ地区本部が整備した新規就農者育成支援リースハウスを活用しています。

今シーズンが初めての出荷ですが、「生産量、質ともに上々」と順調な出足に笑顔がこぼれます。

山下さんは、「JAに支援してもらい、初期投資が軽減できてたいへん助かっています。今後、計画的に経営面積を拡大し、安来市の特産品であるイチゴ生産の担い手としてがんばっていこうと思います」と話してくださいました。

安来市 山下 勇人さん



JA YOUTH

一所懸命 青年連盟



ボン菓子体験を行う児童、盟友

JAしまね石見銀山青年連盟

JAしまね石見銀山青年連盟は、大田市管内の青年農業者等35名で構成されています。

農業を守り発展させる活動として、毎年11月に開催されるJAふれあい祭でのボン菓子加工・販売は好評で、市内の保育園でのボン菓子加工実演も行っています。その他、食農教育活動として、JA女性部と連携した食農料理体験事業「家族と一緒におおだ産 とって！つくって！たべよう！」も平成28年より、継続実施しています。

また、農業を次世代へ引き継ぐべく、島根県立農林大学校の学生との交流も昨年度より実施しており、大田市への就農の相談や農青連への加入を促進していく活動も行いました。

今後もポリシーブックを活用し、青年連盟の活動をさらにPRして盟友を拡大していきます。

※ポリシーブックとはJA青年組織の活動指針でもあり、政策提言集でもある、青年組織の活動の核となるものです。



石見銀山青年連盟のFacebookも是非ご覧下さい！



雲南

春休みにみんなで料理 災害時に役立つ調理法学ぶ

ＪＡしまね雲南女性部大東支部のメンバーが組織する「うしお料理クラブ」は4月2日、雲南市大東町の海潮交流センターで、地元の児童を対象とした春休みクッキングを開催し約30人が参加しました。

メニューは家の光協会が発行している「家の光」に掲載された料理の他に、耐熱包装食袋を使ったカレーやピラフ、プリンなどを作りました。耐熱包装食袋を使った調理法は、袋の中で味付けできたり、1つの鍋で複数回調理できたりするため水が貴重となる災害時にも役立ちます。

同クラブの富山邑子代表は「子ども達が防災への意識を高めるきっかけになればうれしい」と狙いを話し、参加した児童は「袋で料理できるなんてびっくりした。プリンが好きだから家でも作ってみたい」と笑顔で話した。



クラブのスタッフから指導を受けながらプリンを作る児童

くにびき

八束学園でマグカップ寄贈 ～学園生活の思い出に～

八束支店運営委員会（池田至郎委員長）は3月20日、松江市八束町の市立義務教育学校八束学園を訪れ、6年生42名に「オリジナルマグカップ」を寄贈しました。

同委員会は、地域貢献の一環として2013年度から、同学園の6年生を対象にオリジナルマグカップの製作と寄贈を行っています。

この日寄贈したマグカップは、2月27日に児童自身が描いた絵や持ち寄ったシールなどを貼っていき、焼付けを完了させたもの。

当日は、同委員会の事務局長を務める池田久夫支店長が「マグカップをいつまでも大事に使ってください。これからも一緒によりよい地域をつくっていきましょう」と挨拶。その後、先生が個性溢れるマグカップを児童一人ひとりに手渡しました。

早速、箱からマグカップを取り出した児童たちは、出来栄に笑顔を見せながら「思い出がひとつ増えてよかった」「優しく丁寧に教えていただいたおかげで、上手にできた」と話しました。



隠岐

芝桜が満開

隠岐の島町飯田地区において、地域住民のボランティア活動により定植された芝桜が4月中旬には満開となり見頃となった。（活動詳細はしまねびより10月号のトピックスにて紹介）今では、地域の方の目を楽しませているだけでなく、他の地域からも花を見に来る人も多い。地域活動に参加した1人は、「苦労して作業したことが実を結び、鮮やかなピンク色の花に彩られた群生を見てやって良かったと思う。地域の方々と酒を酌み交わしながら花見をすることが楽しみ」と語った。

この活動支援として、ＪＡしまねの地域貢献・地域活性化支援事業を利用し助成をさせて頂いていますが、引き続き地域貢献のため、地域の活動を応援していきたい。



やすぎ

家の光介護予防講座スタート！

やすぎ地区本部は赤江支店で4月12日、2019年度家の光介護予防講座を開催しました。同講座はＪＡ島根厚生連の職員による健康体操教室や雑誌『家の光』を活用した講座を毎月1回開催しており、昨年度から引き続き参加される方に加え、今回新たに参加される方も含め計34名の応募がありました。

第1回目となる今回は24名が参加し、まずは自分の身体について数値で知ってもらうため、身長体重や骨密度、歩くスピードなどを測定しました。また講義では、それぞれの数値の説明や「立つ」「歩く」といった移動機能が低下した状態のロコモティブシンドロームについてなど、運動することの大切さを学びました。最後に椅子に座りながらできるエクササイズを行い、参加者は「皆さんと一緒に運動するのは楽しいです」と話されました。



斐川

チューリップ20万本 咲き誇る！

4月13日、14日の両日、出雲市斐川町今在家で「花のまち出雲」を象徴するチューリップ祭りが開かれました。今年は60アールの圃場に20種類のチューリップ約20万本が咲き誇り、満開の見頃を迎えたチューリップを目当てに、町内外から訪れた多くの家族でにぎわいました。来場者は「毎年楽しみにしている。色とりどりのチューリップを見ることが春を感じられる」と話し、会場では生産者や地元有志による焼きそばやフランクフルトの販売、斐川地区本部も地元産青ネギをふんだんに使った「ねぎ焼き」のPRを行いました。満開のチューリップは4月中旬まで楽しむことができ、会場の目印として恒例のこいのぼりと、道路に面して置かれるチューリッププランターが来場者を出迎えます。



満開のチューリップ畑

石見銀山

J A女性部が清掃活動

J Aしまね石見銀山女性部（長久支部・久利支部・大田支部）が、4月2日に大田市長久町の地区本部周辺の美化活動を行い、12人が参加しました。

この活動は、J Aしまねの3地区本部（出雲地区本部、斐川地区本部、石見銀山地区本部）の女性部が、それぞれの地域で実施し、今年で4回目です。

当日は早朝の8時より部員が集まり、大田市に流れる三瓶川周辺のゴミ拾いを行い、山崎辰次地区本部長も参加しました。

森脇岸江女性部長は開始の挨拶で「地域がきれいになるようしっかりゴミを拾おう」と話しました。

また、久手支部、富山支部、川合支部も日にちは違うもののそれぞれの地域で美化活動を行いました。



ゴミ拾いをする女性部員

隠岐
どうぜん

野だいこん祭りで ニコニコおむすび大作戦！

4月20日、好天に恵まれた土曜日に、知夫村の玄関港・隠岐汽船フェリーターミナル駐車場周辺を会場に、「第28回野だいこん祭り」が盛大に開催されました。“野だいこん”とは、公共放牧地となっている赤ハゲ山の山頂一帯で薄紫色に咲き誇る“ハマダイコン”のことで、知夫の春を告げる祭り・島開きとして村民に定着したものです。

当地区本部は祭りには欠かせない出店コーナーの一角として参加し、定番である「しまね和牛」の販売と「みんなでやろう！ニコニコおむすび大作戦」と銘打った、海士町産の米と知夫村の食材をワンポイントしたおむすびを、参加者自身が握る企画を提供しました。

おむすびの具材は一般的な梅干や鮭等に加え、知夫村の山海漬や冬の代表的な海藻である神葉（ホンダワラ）の佃煮等、伝統的な食材も取り揃え、子供から年配者の方々が「大きいのがいい」「塩が効いたのがいい」などと楽しそうに具材を選び、各自2個ずつ握って食べました。途切れることがないくらい沢山の方の参加を頂き、有意義な春祭りとなりました。



出雲

恒例のラピタビアガーデン 今年もオープン

出雲地区本部は4月12日、恒例の「ラピタビアガーデン」をラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様からご年配の方まで幅広く楽しんでいただける交流の場として毎年開催しています。

初日は会社帰りの方を中心に約210人が来場。オープニングセレモニーでは、J Aしまね出雲女性部東部地区「だんごの会」のスコップ三味線や地元バンド「ジージーズ」の演奏、津軽三味線などが会場を盛り上げました。

ビアガーデンは、9月末まで毎日午後5時半から9時まで営業します。今年は5月末まで土・日・祝日を除き、300円プラスで焼肉食べ放題も企画しました。700席（雨天時は300席）を設け、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは生活部ブライダル課

TEL0853-21-6063まで。

（お問い合わせ時間／9：30～20：00）

西いわみ

JAしまね西いわみ女性部鎌手支部 総会開催そば打ちも体験

JAしまね西いわみ女性部鎌手支部（支部長両見宣子）は4月8日、益田市西平原町の鎌手地区振興センターで平成30年度の通常総会を開きました。

平成30年度活動では「ほめられ酢」を使った料理教室や福祉施設へのおやつサービス提供の実施等を報告、平成31年度は「農の生け花」の展示など積極的な活動をしていく事を確認しました。

そば打ち講習では、講師に招いた地元在住の農業細川恒之氏から手打ちそばの作り方を教わりました。

生地のこね方や伸ばし方、力加減などを指導してもらい、打ちたてのそばを昼食として全員でいただきました。



島根
おおち

JAしまね島根おおち青年連盟 組織活性化および『地上』編集研究会

JAしまね島根おおち青年連盟は、青年組織の活性化、組織基盤の強化を図る「学習強化運動」をすすめるためのモデル組織に選定されたことを受け、盟友同士の結束を深めるため月刊誌『地上』を使った、組織活性化および『地上』編集研究会を開催しました。

研究会では事前に行っていた、農業、青年連盟活動、地域活性化等についてのアンケート結果が報告されたほか、家の光協会から全国の青年組織活動の事例紹介や『地上』の編集方針、編集企画についての説明がありました。その後、7、8名の班をつくり、今回の研究会のメインであるグループワークを行いました。テーマを「青年連盟活動を継続し発展させていくためには」と設定し、盟友同士が意見交換を行い、テーマを全体的に考え議論を進める班、現在行っている「愛菜カレーの日」の活動を切り口に議論を展開する班と様々でしたが、それぞれに盛り上がりを見せました。

島根おおち青年連盟では、今後も盟友同士の意見交換を行う場を設け、結束を深めるとともに組織の活性化を図っていきたく考えています。



本店

JAしまね入組式 新たな力に期待

4月1日に松江市の島根JAビルで入組式を行い、今年度は49人の職員を新たに迎えることができました。

入組式では新入職員を代表して、雲南地区本部の石原宏樹職員が「JAしまねの職員という誇りをもち、信頼してもらえるよう力を出していきます」と決意表明しました。

同日より新入職員向け研修「JA島根ユースカレッジ新入職員課程」もスタートし、JA職員をはじめとしたJAグループ島根の新入職員合わせて62人が、約1年かけてJAの基礎知識や社会人としての心構え、JA職員として必要な基本的知識や実務を習得します。

竹下正幸組合長は「この研修会で仲間をつくり、社会人・JA職員として基礎を学び、共に頑張っていく気持ちで突き進んでほしい」と激励しました。

JAしまねの新米職員にむけて、皆様のご指導とご支援をよろしくお願いたします。



新入職員代表で決意表明をする石原宏樹さん

いわみ
中央

プルタブ回収運動で車いす贈呈 ～小さな積み重ねが地域貢献に～

いわみ中央地区本部（井上宗治地区本部長）とJAしまねいわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は4月上旬、自走式車いす1台を浜田市社会福祉協議会（大谷克雄会長）に贈呈しました。同事務所を訪問し地区内の介護支援活動に役立てて欲しいと贈ったものです。これは、いわみ中央地区本部と女性部が平成24年度より管内組合員・女性部員にそれぞれ呼びかけているエコ運動の一環で、地区本部管内の各支店・事業所でのプルタブ回収と女性部統一運動の成果として行っています。井上宗治本部長は「捨ててしまえばただのゴミだが集めれば有効な資源として車いすに変え贈ることが出来る。今後もこのような活動を続けて行きたい」と話しました。受取った大谷克雄会長からは「一昨年も贈呈いただき介護支援活動に活用させていただいております。有難うございます」とお礼の言葉をいただきました。



タテのカギ

- ①人に相談すると解消することも
- ④障子やふすまをはめます
- ⑦ガロのヒット曲『——街の喫茶店』
- ⑨改札やホームがあります
- ⑩漢字では「茱萸」や「胡頹子」と書きます。サクランボに似た実がなります
- ⑪舞台上で演じられるもの
- ⑬子守熊ともいわれるオーストラリアの動物
- ⑮太陽の光がよく当たる場所
- ⑯——遣い ——□ ——足
- ⑰夏至は一年で最も——が短い日
- ⑱日本三景の中で一番北にあるのは
- ⑲平熱よりも少し高め
- ⑲人家の軒先に巣を作ることもあります

ヨコのカギ

- ①雨の多い時期に活躍する履き物
- ②ネギやごま、七味唐辛子など
- ③ショッピングモールにはたくさん並んでいます
- ⑤新進——の芸術家
- ⑥吸ったり吐いたりします
- ⑧融通が利かない人
- ⑫父の日に、黄色い——の花を贈る習慣もあります
- ⑬物を非常に細かく砕いた状態
- ⑭未熟なうちに収穫した大豆
- ⑮ランチの後にうとうと
- ⑯歯磨きをして予防します
- ⑰もしものときのために準備しておく物。スペアともいいます
- ⑲トイレットペーパーの芯やちくわのような形のこと

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	10			17	20
2				15		
3			13			
4	8	11			18	
5	9			16		
6			14			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

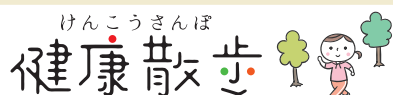
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年6月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「シヤクナゲ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



森林浴に出かけましょう!!

JA島根厚生連

風薫る爽やかな5月。新年度を迎え1ヶ月が過ぎ、少々お疲れが出ていませんか？身も心も…。

今回は、その疲れを癒す1つの方法として森林浴に目を向けてみました。

日本は国土の7割程度は森林が占めていて、世界でも有数の森林国です。ここ山陰でも数多くの自然に囲まれており、森林セラピーとして推奨されている地域がたくさんあります。1982年に『森林浴』という言葉として提唱されました。その22年後の2004年には、科学的（医学的）効果が解明された森林浴を『森林セラピー』という言葉で提唱されるようになったということです。

広く一般的に知られている森林浴ですが、あらためて森林浴とは、「森林を散策して樹木の香気を浴び安らぎや爽快感を得る。また、樹木に接し精神的な癒しを求める行為」とあります。なんだかこう読んでみると、堅苦しくて、億劫になってしまいますね？とりあえず、キラキラと輝き、目にまぶしい木々の緑の中に出かけてみましょう。

緑の中に入ると誰でも大きく深呼吸をしてしまいます。条件反射のように大きく山の精気を吸い込む、吸い込みたくなることがまさに森林浴とその効果です。緊張感や疲労感が緩和され穏やかな気持ちになり、血圧や脈拍数が低下するなど、心理的にも身体的にもリラックスした状態になることも確認されています。さらに、2日間の森林浴では、がん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（NK細胞）が活性化し、抗がん作用効果もあるといわれています。

木の芽どきの体調を崩しやすいこの時期に、新緑の美しい自然の中に身を投げ、思いっきり木々の恵みを吸い込んで、身も心もリフレッシュしましょう！そして、また明日から元気にスタートしましょう。



原木椎茸収穫研修会 生産者一丸となって



いわみ中央地区本部では3月27日、浜田市旭町で原木椎茸生産者を対象に「原木椎茸収穫研修会」を開催し、生産者20名が参加しました。

講師に原木椎茸

ではベテラン生産者である岩地正男氏、日本きのこセンターの長田英雄氏、森産業(株)影井和男氏を招き、岩地正男氏の人工ほだ場の見学や椎茸収穫時のコツ、原木椎茸生産の際に気を付けること、人工ほだ場での乾燥防止対策など、参加した生産者は熱心に聞き入っていました。

今年度も5月に品評会、7月には産直さんさい市場での販売販促運動などを展開する計画です。

いわみ中央原木乾椎茸生産組合一丸となって消費者の皆様へPRし、所得向上を目指したいと思います。



ぶどう定期総会 10年後を見据えて活気あふれる組織に

4月2日、金城町ぶどう生産者協議会(会長 塚本 守)は金城観光ホテルで第17回定期総会を開きました。

平成30年度において、7月30日より出荷を開始し収量・販売金額とも昨年を下回る実績となりましたが、単価については昨年を上回る結果となりました。郵便局ふるさと小包や各種宅配事業及び地元量販店にも積極的に出荷を行い認知度向上に努めました。

平成30年度優良農家表彰では中下祐介さんが反収、秀品率の両部門で受賞し表彰状が授与され、また島根県西部

農林振興センター浜田農業普及部小山洋課長より「美味しまね認証認定書」が塚本会長へ交付されました。美味しまね認証制度の取り組みについては、昨年より各会員で取り組みを開始し今回グループ認証で7戸の会員が認定されました。

総会では、産地振興ビジョンの提案もあり10年後の目標を設定し、協議会・行政・JAが一体となり取り組むことを誓いました。

また、平成30年度はリースハウス事業により面積も増え、新たに2名の新規会員、平成31年度についても1名の加入があり活気あふれる組織となりました。

今年度も「浜田市の顔」の一品目(大粒系ぶどう)として力を入れ、各組織とも生産者一丸となり、ひとつのチームとして生産面積・生産量の拡大と消費者へ品質の良い美味しいぶどうが提供できるように取り組みます。



わさび出荷目合わせ会

4月2日金城町わさび生産組合は、平成31年度の出荷に向け、JA波佐事業所にて出荷目合わせ会を開催しました。

生産者9名が参加し、JA担当者から出荷規格や精算方法等について説明がありました。また、河野組合長の冒頭のあいさつで「一昨年の災害からまだ完全に復旧していない中ではあるが、生産者一丸となって産地振興に取り組んでいきたい」と話されました。

今年度は、例年より気温が高く、若干生育が早く進んでおり、出荷期間は4月上旬～5月中旬頃まで県内市場を中心に出荷を行う予定です。

また、今年度も引き続き販売促進イベントを開催し、花・葉わさびの加工作業の実演、合わせて加工品(わさび醤油漬け・粕漬け・味噌)の販売も行う計画です。

5月上旬頃には今まで出荷規格外で出荷できなかった大きな葉わさびを、地元商店へ納品し、少しでも地元食材で消費者へ提供できるように努めていきます。



産直トピックス

4月の営農塾

【第14回 4月10日】

4月10日第14回の営農塾を開催しました。この日はあいにくの雨模様で座学と営農塾での作物別栽培の検討会を行いました。今年には、塾生6名みんなで色々な作物を植えたいという希望から、ミニトマト・枝豆・胡瓜・スイートコーン・コリンキーなどを植えることに決定しました。

座学は、島本職員によるピーマンとパプリカの違いについて学び、栽培方法として肥料や定植温度、整枝と誘引や管理について学びました。

中でも、「ピーマンは、開花後15日〜20日程度で収穫ができるが、パプリカは、50日〜60日程度かかる。収穫量もピーマンは1株で60個位。パプリカは、20個位の収穫量である。」など、パプリカは、色づくまでに日にちがかかることも理解できました。講義後、雨も上がり3月に定植したジャガイモの様子を確認に美川の圃場へ行きました。



令和元年度産直きんさい市場営農塾塾生募集!

農業の経験は少ないが農業に興味があり、JAの「産直市場」へ出荷してみたい方や、今後、野菜作りに挑戦してみたい方を対象に営農塾を開講します。種まき、圃場管理から収穫など「基礎講座（座学）」と「実習圃場」にて学び、体験していただきます。初心者の方も大歓迎いたします。

記

- 実習品目** 春まき・秋まき等の一般野菜
- 講義日程** 令和元年9月～令和2年8月（12ヵ月）まで 月2回程度
- 圃場** 浜田市内村町
- 定員** 15名（申込多数の場合は、書類にて選考させていただきます）
- 受講料** 2,000円（年会費）
- お申込先** JAしまねいわみ中央地区本部 営農企画課
☎0855-22-8812 Fax: 0855-22-0679
Eメール: hanbai.iwc@ja-shimane.gr.jp
担当者 木村寿幸・前田光子
- 申込期限** 令和元年7月16日（火）

年金相談会

- 5月25日(土) いわみ中央地区本部 午前9時から午後3時まで
- 6月20日(木) 浜田西支店 午後3時から午後7時まで
- 6月25日(火) 金城支店 午後3時から午後7時まで

メガネ・補聴器巡回スケジュール

- 6月3日(月) 波佐事業所 午前9時から午後3時まで
- 6月4日(火) 雲城出張所 午前9時から午後3時まで
- 6月5日(水) 金城営農経済センター 午前9時から午後3時まで
- 6月6日(木) 木田店舗前 午前9時から午後3時まで
- 6月7日(金) Aコープやさか前 午前9時から午後12時まで
- 6月14日(金) 三隅支店前 午前9時から午後3時まで
- 6月18日(火) 浜田営農経済センター 午前9時から午後3時まで
- 6月19日(水) 旧市木事業所前 午前9時から午後3時まで
- 6月20日(木) 上府事業所 午前9時から午後3時まで
- 6月21日(金) 江東事業所 午前9時から午後3時まで

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等気軽にお立ち寄り下さい!!



営農情報

あぐりノート

教えて野菜作り!

2019年5月号



農繁期がひと段落するころから、さつまいもの植え付けも盛んになります。さつまいもは品種と土壌で大きく収穫の差が出る野菜です。

そして、場所と栽培方法でも食味も変わります。十人十色、それぞれの栽培法があると思いますが、今月はさつまいもを取り上げました。関心のある所だけを参考にして、自分流を生かした栽培を行って下さい。

○一般的な特徴

さつまいもは作物の中では、連作障害が起きにくく、乾燥に強い作物ですが、水はけが悪い場所で、長雨などでかん水してしまうと枯死する場合があります。畑作の場合は黒マルチを使用するとイモの肥大や食味の向上も期待でき、定植後の発根・活着の促進、雑草の防除や収穫時のツルのはがし作業なども容易となり、色々な面で高い効果があります。

1、苗の植え付け

販売されている苗（ツル）か、メリクロン苗（ウイルスフリー苗）と呼ばれるポット苗を購入して大きめの鉢に植え替え、本葉7～8枚の時に中心の葉を摘み取って、節からツルを出させた上で、8節以上伸びたら切り取って植え付ける方法があります。

（※1ポットから7～8本のツルが取れる）

切り口に近い2～3節から根がもっとも塊根（イモ）をつけやすいので、必ず2～3節は土中に埋め込みます。節を埋め込まないと吸収根ばかりとなりイモができません。各節の葉は葉身を必ず外に出すように植えましょう。深さ5～10cmの溝を切って、苗を水平にして植える「水平植え」か斜めに植える「斜め植え」が一般的です。

植え付けは、霜の危険がなくなり、平均気温が18℃以上で、地温15℃以上になったころ（5月上旬～6月下旬）に行います。条件がよければ3～5日で活着します。苗の活着には土壌の水分が必要なため、畝が乾いている場合は植え付け後に水やりをします。

※ できるだけやせ地で作る!

この言葉、御存じだと思います。前作の残留肥料により、たくさんの葉を作らないため。



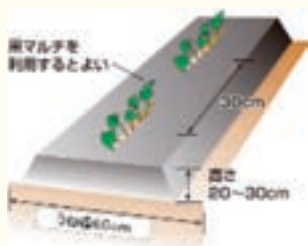
2、植え付け後の管理

植え付け後、根は伸びますがツルの生育は遅いため、黒マルチがなければ1ヶ月は除草を行います。生育が進めばツルが這い地面を覆うので雑草もあまり発生しません。追肥は基本的に行いませんが、7～8月に葉が黄色くなってきた時は追肥します。また、夏から秋にかけて、ツルを持ち上げてひっくり返し、ツルの節から出た根を切る作業、ツル返しですが現在の品種は、節の根がイモになる事はないので特に必要ありません。

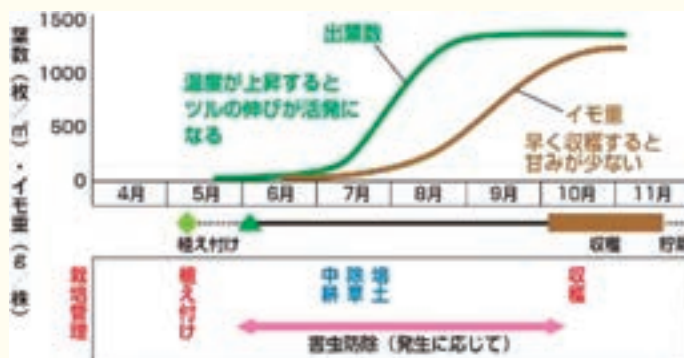
3、収穫の目安 120～140日

植え付け後、120～140日程度で収穫となります。収穫が早すぎると食味が悪く、遅過ぎるとイモの形が乱れるので、適期の収穫が大事です。霜に当たったサツマイモは腐敗や貯蔵性が劣ることから、初霜前には収穫を終えるようにします。晴天の日を選び、しばらく乾燥させてから貯蔵します。

さつまいもの生育



- ・8-8-8 (A801) などでは1㎡当たり元肥として200gを施しましょう。
- ・2-8-9などのさつまいも専用肥料も市販されています。カリ肥料重視型。





西部農林振興センターからのお知らせ

令和元年度狩猟免許試験開催のお知らせ

野生鳥獣の被害にお困りではないでしょうか？
鳥獣被害対策の方法は、大きく分けて以下の3つがあります。

集落環境整備



誘引物除去 不要果樹伐採



不嗜好作物への転作 …等々

侵入防止柵設置



ワイヤーメッシュ+電気柵



電気柵 …等々

加害個体捕獲



箱わな



くくり罠

効果的に対策を進めていくには、これらを組み合わせて行うことが重要となります。

しかし、野生鳥獣の捕獲は原則、**狩猟免許が必要**となります。

自分の農地は自分で守ることが必要です。ぜひ、狩猟免許を取得してみたいかがでしょうか。

県では下記の日程で**狩猟免許試験**と**事前講習会**を予定しています。

【狩猟免許試験】 ※狩猟免許試験は、秋にも開催掲載を予定しています。

日 時：令和元年6月30日（日）9：00～

場 所：浜田合同庁舎

手数料：3,900円（わな免許の場合）5,200円（第一種銃猟免許の場合）

※銃猟の場合は銃の所持許可が必要。詳細は最寄りの警察署に相談してください。

【狩猟免許事前講習会 受講料：6,000円】（※事前講習会の申込みは猟友会まで。）

<江津会場>

日 時：令和元年6月9日（日）9：00～15：30

場 所：江津市総合市民センター（江津市江津町1110-17）

<浜田会場>

日 時：令和元年6月16日（日）9：00～15：30

場 所：サンマリン浜田（浜田市原井町3050-9）

申請の方法やお問合せなど、島根県西部農林振興センター又はお近くの市役所・各支所農林部署まで。

連絡先

島根県西部農林振興センター林業振興課（TEL：0855-29-5604）

日頃の感謝をこめて 『吉本新喜劇&バラエティーショー』いわみ



3月26日、石央文化ホールでJA組合員ご利用者感謝の集い「吉本新喜劇&バラエティーショーinいわみ」を開催しました。

昼と夜の2部制として募集したところ、第1部(14:00〜)はほぼ会場満員の1,000名、第2部(18:00〜)でも700名のご来場をいただきました。

新喜劇の出演メンバーは石田靖さん、ジミー大西さん、チャーリー浜さんなど豪華メンバーで、特にジミー大西さんの登場シーンでは大きな歓声と拍手がおこりました。第1部終了後には、舞台上でJA特産品「晩夕飲力」を新喜劇の皆さんに贈呈し、PRも行いました。

演劇中は撮影禁止でしたので、会場の盛り上がりをお伝えできないのが残念ですが、大盛況のうちに終了し「楽しかった」「笑った笑った！」と笑顔で帰宅されていました。

いわみ中央地区本部では、これからも組合員・利用者の方に喜んでいただけるイベントをどんどん企画していきますので、多数のご参加をお待ちしております！



信用事業優績表彰式が 開催されました

4月13日、出雲市のラピタ本店において、平成30年度信用事業優績表彰式が開催されました。「渉外競励」「窓口競励」「店舗競励」の三部門で実施され、1年を通じた貯金・貸出金等の実績を基に一定の基準をクリアした渉外担当者、窓口担当者および店舗に対し表彰が行われました。いわみ中央地区本部における受賞は次のとおりです。

《渉外》

- 浜崎 美穂子 優秀賞(専任A) 第1位
- 山口 晋哉 優秀賞(専任B) 第3位
- 遅越 晃弘 優秀賞(専任C) 第2位
- 石本 達也 部門賞(融資)
- 畑岡 将平 バランス賞

《窓口》

優績窓口担当者

- ・中野 智子 ・近藤 奈々
- ・山崎 かなな ・山藤 瑞江
- ・東 照美 ・花木 美幸
- ・羽部 美恵子

《店舗》

- 金城支店 年金の部 第3位
 - 旭支店 年金の部 第5位
 - 三隅支店 年金の部 第9位
- 優績担当者および優績店舗として表彰を受けた皆さま、本当におめでとうございます。

今後も、渉外担当者・窓口担当者および店舗全体が一体となった取り組みを行い、地域の皆さまから信頼されるJAを目指して参ります。



令和元年度へ向け 全職員で意識統一

いわみ中央地区本部は4月6日、地区本部ふれあいホールにて全役員で事業進発式を行いました。

初めに新入職員の紹介があり、それぞれの「決意」を聞き、初心を思い出した職員も多かったと思います。

研修会では講師に中村 学氏(笑門介護中村学事務所所長)を

招き「笑う門にはいい職場」をテーマに講演をいただきました。どんな状況でも一度踏みとどまり、考え、笑顔でいられる職場環境を作ることの大切さを学びました。

井上本部長は冒頭の挨拶で「本年は国そして、JAグループ、JAしまねが大きく変革する年である。今進めているJA自己改革を更に進め、組合員、利用者により寄り添い、新たな体制、変革する経営環境の中、信頼されるJAを目指さなければならぬ。その為には、何をすべきか常に疑問を持ち、自らが変わり職場が一つとなりチーム力で業務に活かしていくことが重要」と熱い思いを語りました。そして各部の事業方針を全員で確認し、新年度への意義ある意識統一の一日となりました。



新入職員紹介



てらだ みつひろ
寺田 光博

- 趣味(マイブーム)
- ・スキー ・アウトドア
- ・バスケットボール
- ・洗車をする

●座右の銘

『毎日、当たり前のことを当たり前にするれば 大きな力となる』

●抱負

私は、大学で広島に生まれましたが地元である島根県の魅力を忘れることができず、また、島根で自分を成長させ、島根あるいは石見を盛り上げる一員になりたいという想いがありJAに入組しました。

幼いころより地元の行事に積極的に参加し、「つながり」を大切にしてきました。社会人としてその「つながり」を大事にし、笑顔で全力で頑張っていきたいと思っています。

美川事業所の窓口担当ですのでぜひ声を掛けてください!!



いしはら たくや
石原 拓哉

- 趣味(マイブーム)
- ・バレーボール
- ・映画鑑賞

●座右の銘

『試行錯誤』

●抱負

浜田支店に配属になりました石原拓哉です。私は松江出身で、島根県の地域と農業の発展に貢献したいと思い、JAに入組しました。

今まで先輩方が築いてこられた組合員・利用者の皆様との絆をさらに深めることができるよう、日々精進していきたいと思っています。

まだ浜田市の地理にも不慣れで、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、皆様の力に一日でも早くなることのできるよう全力で取り組んでまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

渉外員紹介

浜田・浜田東地区担当

私たちは浜田・浜田東支店管内の地域を訪問させて頂いております。皆様から信頼され、選ばれ、必要として頂けるよう元気と笑顔で頑張ります!皆様の貯金・年金・ローンのご相談や、万一の病気や事故、災害での保障のお悩みに誠心誠意お答えさせて頂きます。宜しくお願い致します。



浜田西・三隅・弥栄地区担当

浜田西ブロック渉外課です。浜田西ブロックは渉外課長を中心に浜田西・長浜・美川・弥栄・三隅の5支店、事業所を8人で回っています。組合員の皆様に愛され、お役に立てるよう日々頑張っていますので宜しくお願い致します。



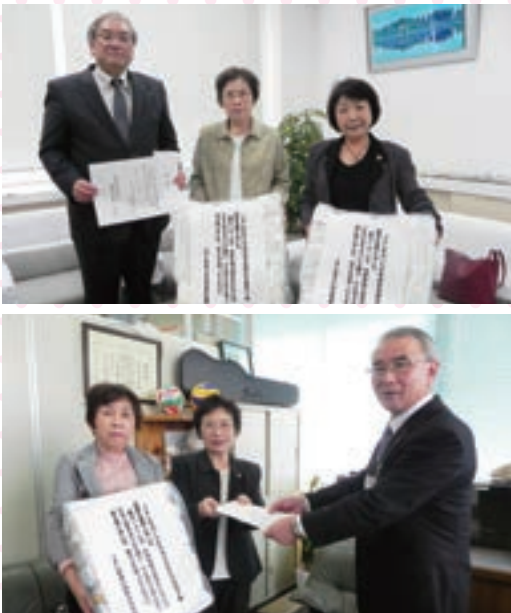
「雑巾一枚運動」
学校をピカピカに!

いわみ中央女性部は、3月25日に浜田市教育委員会に雑巾を贈呈しました。徳田マスエ女性部長と山崎佳子浜田女性部部長が訪問し、手作り雑巾300枚を浜田市教育委員会 石本一夫教育長に手渡ししました。

この雑巾一枚運動は、女性部員一人一人が、小学校がピカピカになりますようにと願いを込めて、ひと針ひと針手で縫った雑巾を、各学校へ贈るという歴史ある取り組みです。

石本一夫教育長より「女性部員さんの心のこもった雑巾を、子供達に届け使わせてもらっている。学校側も大変喜んでる。」と感謝の言葉をいただきました。

3月27日には江津市教育委員会に平川節美江津女性部部長が訪問し、200枚を贈呈しました。



笑顔のまごころ宅配便
届けます!



「そして「サツマイモプリン」をお配りしました。近年は「春分の日」にお配りしているので、楽しみに待っていた方も多くなってきました。訪問すると、女性部員さんの「お元気でしたか?」の挨拶から始まり世間話や近況、お弁当の説明など話は尽きず、笑い声の中回らせていただきました。この活動は来年も計画し、お弁当とともに「春と笑顔」もお届けしたいと思えます。



3月21日、金城女性部今福支部（支部長 西川つきよ）では今年も恒例の「福祉弁当作り」をしました。80歳以上の独居の方を対象に、女性部会員と職員で作ったお弁当をお届けしています。今年の対象者は13名おられ、今福支部で育てた大根で作った干し大根を使った「煮しめ」と「赤飯」

「料理教室・ガーデンニング」
を開催しました。



3月20日 三隅女性部芦谷支部（支部長 泉川サエ子）は「春を感じられる料理とガーデンニング」を行いました。当日は天候にも恵まれて、まさに春らしい一日でした。

料理はひな祭り定番のちらしずしをアレンジした「手綱ずし」、春キャベツを使った「メンチカツ」、色鮮やかで春らしいデザート「フルーツポンチ」などの料理を作りました。手綱ずしはまきずを使い、どうしたらキレイに巻けるのか話し合いながら作っていきました。また、フルーツポンチに入れる団子は水の代わりに絹ごし豆腐を使って作りました。「団子の粉でも白玉団子のようにできて驚いた」と話していました。

料理で春を感じた後にはガーデンニングでさらに春を感じました。まだ小さな苗ですが、これから大ききれいに咲いてくれることを心待ちに、参加者は楽しみながら作業を行いました。





4月の講義「ウインナー作りに挑戦！」

4月11日JA女子大学5期生は、4月の講義『ウインナー作り』の体験をしました。

講師は、(株)島根ポーク ケンボロー手作りハム工房 松本進工房長に来ていただきました。初めに、ウインナーとソーセージの違いや、ハムの種類・発色剤や決着剤についての話聞き、参加者は『毎日の様に食べているハムやソーセージだけど、種類の違いで考えて



てなかったね!』と、新たな発見への驚きの声がたくさん上がりました。続けて実習に入り、羊腸の中に香辛料を混ぜ込んだ豚挽肉を専用の器具を使って詰めていく工程に挑戦しました。参加者は『見てるだけだと簡単そうだけど、破れたり細くなったりするから、均等に詰めるのは力加減が難しいね…』と、悪戦苦闘しながら詰め、成形し仕上げていきました。出来上がったソーセージは早速、フライパンでこんがり焼き色を付けた後、蒸し焼きにしてみんなで試食しました。

地域の話 題

雛ご膳で春満開

3月31日に金城町七条の農家（雛の花代表 三浦妙子宅）で、「雛ご膳を楽しむ会」が開催されました。主催は雛の花といわみ中央女性部金城雲城支部（支部長 岡本照子）で毎年この花見シーズンに開催し、市内外から雛ご膳を楽しみに多くの来場者があります。

会場内にはお雛様と春の花が飾られ、華やかに開催されました。

61人前の雛ご膳が準備されましたが完売。12品のメニューで、クレソンの白和えや山野草のてんぷらと手作りこんにやくのお刺身、切り干し大根とウドの酢の物など、メニューは、すべて地元産の食材を用い、1年を通じて、地域のお年寄りがこの日のために丁寧に作った保存食等を使用したものです。来場者は、「毎年この日を楽しみにしています。今日のご膳もすべてが心のこもったもので、あたたかいおもてなしを受けました。地元の食材は最高。また、来年の予約をして帰りたいです。」と喜ばれました。

三浦妙子代表は、「お陰様で毎年皆さんに喜んでいただいています。食材は、すべて金城産にこだわり、メニューを考案するのにもメンバーの楽しみの一つ。来場者の皆さんの喜びの声とメンバーの笑顔で頑張っています。また来年も開催したい。」と話されました。



雛ご膳 (三浦妙子宅)

イメージです

いわみ中央 浜田・江津の デラウェア

みずみずしくて
甘いデラウェアを
ご賞味ください

イメージです



デラウェア(管内産)特選品

デラウェア2kgバラ詰/箱
(約11~14房)

商品価格 **3,700円** (消費税
送料込)

「私たちがつくっています」



受付期間
令和元年5月20日(月)~
6月21日(金)

発送期間 令和元年6月下旬~
7月中旬

但し天候・生育状況により発送が前後することがあります。
お届け日・お時間のご指定に添えない場合があります。
受付開始日から約1ヶ月後の発送になりますので御注意願います。

申込方法 各支店・事業所・営農経済センターにて
備えつけの注文書にご記入の上、
お申込み下さい。



JALしまね いわみ中央地区本部

営農企画課 TEL0855-22-8812 FAX0855-22-0679

農業体験塾 開催 参加者募集



おじいちゃん
おばあちゃんの
参加お待ちして
います!

いつも食べているお米や野菜などが、どうやってできているかJAでは1年を通して、お米作り、野菜作りなどご家族みんなで体験し「食」と「農」の大切さを学んでもらいたいと考えています。

第1回目

お米作り～田植え～ 田植えをやってみませんか!

日時
5月25日(土) 浜田会場
6月 1日(土) 江津会場
☆作業は午前中です。
(小雨決行/中止の場合は電話で連絡します)

- 受付開始** 午前9時～
- 開始時間** 午前9時30分
- 集合場所** 浜田会場:浜田市周布1町内公民館
江津会場:江津市松平地域防災拠点施設
- 対象者** 浜田市・江津市の小学生以下の子供さんとその家族
- 申込締切日** 5月10日(金)まで **参加費** 無料
- 服装** 田植えの出来る服装
・汚れてもいいハイソックスや長靴
・水分補給のお茶等
- その他** 作業終了後には女性部の皆さんの手作りおにぎりを用意します。
参加の子供さんに笑味ちゃんグッズプレゼント!



昨年の田植え風景



《参加ご希望の方へ》
今後も野菜の栽培、稲刈り、収穫祭などの「食」と「農」を楽しみながら学べる企画を計画しています。
参加された方には今後も企画のお知らせを送らせていただきます。

お申込み・問合せ先
JAしまねいわみ中央地区本部 ふれあい課 : TEL 0855-22-0202 メールアドレス:fureai.iwc@ja-shimane.gr.jp

田植え参加申込書

参加会場： ・浜田会場 ・江津会場 (どちらかに○をしてください)

参加者名簿

フリガナ 氏名	年齢	住所	電話(携帯)
フリガナ 氏名			
フリガナ 氏名			
フリガナ 氏名			
フリガナ 氏名			



30周年企画 農協観光創立30周年企画

全観光食事付

2泊とも2名様より1部屋ご用意

協賛:萩・石見空港利用拡大促進協議会

萩・石見空港発着 FDA 直行チャーター便利用!!

知床国立公園

3日間

世界遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

世界自然遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

世界自然遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

世界自然遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

世界自然遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

世界自然遺産 知床半島

世界自然遺産 知床五湖

出発日 2019年 17月21日 27月24日

Aコース
146,800円
159,800円

Bコース
159,800円

Aコース
2泊目 1泊目

Bコース
2泊目 1泊目

Aコース
2泊目 1泊目

Bコース
2泊目 1泊目



トムム盛海テラス

知床五湖

知床半島

知床国立公園

便利な送迎バスツアー
往復3,000円(往復バス)
にてご利用いただけます!
大朝ICの無料IC中継区
今日も楽しんでください!
IC 萩・石見空港
運行開始です!

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

国内旅行案件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。

キラリ いー顔！ 島根県立大学 吹奏楽サークル

島根県立大学（浜田キャンパス）、吹奏楽サークル（部長 三原由里香）は、2・3年生総勢10名で活動しています。活動テーマとして「吹いて奏でて楽しむ!!!!」を掲げ、音楽を通じて仲間作りをするとともに地域との交流を深めるとして、吹奏楽祭や浜田ろう学校での交流演奏会を行っています。



毎年10月の海遊祭ではコンサートを開催し、多くの方々に楽しく聴いてもらえるよう心がけながら演奏しています。部員数が少なく楽器が限られているので、書き換えのできる曲選びに苦戦したりと大変なところもありますが、「楽しむこと」を第一に考え活動しています。他にもサークル活動として文化系22団体、体育系19団体ありますので、イベントや地域を盛り上げたいなどご依頼等あれば気軽に大学担当（0855-24-2213）までご連絡ください。

福祉センター通信

～JA福祉用具貸与からのお知らせ～

今回は足こぎ車椅子を紹介します。

介護認定を受けられている方は**月額¥14,000の1割～3割の負担**でレンタルできます。
詳細は福祉センター 佐藤にお問い合わせ下さい
☎22-8918

人事異動	職能資格	氏名	部署	備考	
	平成31年度新入職員	寺田 光博	美川事業所	平成31年4月1日	採用
	平成31年度新入職員	石原 拓哉	浜田支店	平成31年4月1日	採用
	定期職員	静本 千文	雲城出張所 業務課	平成31年4月15日	旧部署 金融企画課
	福祉センター正職員	日野由希絵	福祉センター	平成31年4月1日	職能変更
	福祉センター臨時職員	田原香那恵	福祉センター	平成31年4月1日	採用
	福祉センター臨時職員	其原 夕子	福祉センター	平成31年4月15日	採用
	パート職員	采原 翠	金融企画課	平成31年4月15日	採用
パート職員	江川 裕子	金融業務課	平成31年4月15日	採用	
パート職員	宮本 幸子	農産課	平成31年4月1日	採用	

4月号 機構図の 訂正	職位	氏名	部署	4月号誤表記内容
	課長	山本 泰介	営農対策部営農指導企画課	営農対策部担い手対策課
	課長	笹田 佳	リスク管理部審査課（兼債権管理課）	融資部融資課
		坂本 雄章	監査部（西部駐在）	内部監査部

取れたてが甘くておいしい スイートコーン

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

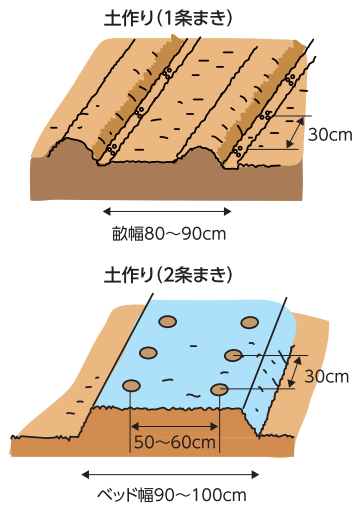
園芸研究家 ● 成松次郎

スイートコーンは温暖で強い日光を好む強健な野菜です。雄花が雌花より先に咲き受粉のタイミングがずれやすいため、集団で育てることが実入りを充実させるポイントです。

【品種】「みわくのコーンゴールドラッシュ」(サカタのタネ)、「おひさまコーン」(タキイ種苗)やバイカラーと呼ばれ黄色と白色が混じっている「ゆめのコーン」(サカタのタネ)などがあります。

【栽培時期】遅霜の心配のない4月下旬～5月中旬が種まき期で、寒冷地では5月中旬～6月中旬です。

【土作り】畑1平方m当たり苦土石灰100gをあらかじめ散布しておきます。次に、畝幅80～90cmを取り、深さ20cm程度の溝を切ります。この溝1m当たり化成肥料(N-P-K=10-10-10%)150gと堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます。2条まきでは、幅90～100cmのベッドを作り、1平方m当たり化成肥料200gと堆肥2kgとを全面に施し、土とよく混ぜておきます。そして、ベッドを平らにならした後、早まきではポリマルチをします(図 土作り)。



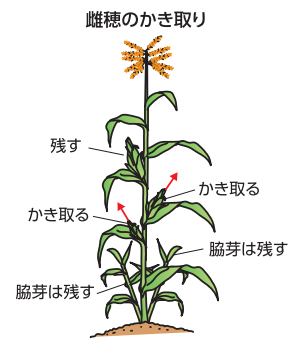
【種まき】株間30cm程度1カ所3～4粒の点まきします。ハトに食べられないように、寒冷しゃや不織布のべた掛けをしましょう。なお、1～2株の栽培や1列だけでは、花粉が不足しやすいので10株以上、または2列以上の集団で栽培してください。

【管理】草丈10～15cmで間引く苗を切り取り、1本

立てにします。追肥は草丈50～60cmの頃、畝1m当たり化成肥料50gを列の片側に与え(ベッドでは1平方m当たり100gをベッドの両側)、株元へ土寄せします(図 追肥・土寄せ)。そして、上の雌穂を残し、下に付く穂を全て除き、1本1穂にすれば大きい穂になります。なお、脇芽は特に取り除く必要はありません(図 雌穂のかき取り)。



【病害虫防除】雄花がつき始めたころにアワノメイガが葉裏に産卵し、大きくなった幼虫は雄穂や雌穂(子実)に食入します。茎や子実に入り込んだ幼虫を防除するのは困難なので、雄穂が伸びだす頃に殺虫剤を散布します。



【収穫】絹糸が出てから3週間ほどたち、絹糸が褐変して先端の子実が乳白色に着色した頃です。早朝に収穫し、収穫後は急速に甘味が減少するため、早めに冷蔵庫に入れましょう。もちろん、すぐにゆで上げて食べるのが一番です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

成松次郎(なりまつじろう)

神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、(一社)日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

理事会情報 (3月28日開催)

協議事項

- ①平成31年度県域品目販売手数料について
- ②「平成32年度島根県農業政策および予算に関する要望」の進め方について
- ③平成31年度補助事業(国庫及び県単補助事業)の実施について
- ④平成29年産飼料用米の最終精算について
- ⑤平成30年産備蓄米の最終精算について
- ⑥日本銀行歳入復代理店の申請について
- ⑦平成31年度余裕金運用にかかる年次運用方針について
- ⑧平成31年度第1四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
- ⑨マネロンおよび反社会的勢力等への対応に関する

規程類の一部改正・設定および特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について

- ⑩一般貸倒引当金の取り扱いについて
- ⑪平成31年度コンプライアンス・プログラムについて
- ⑫平成31年度個人情報保護計画について
- ⑬平成31年度における各種限度額について
- ⑭貸出金遅延損害金の減免について
- ⑮組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑯平成31年度事業収支計画について
- ⑰次期中期経営計画「収支計画」について
- ⑱特別損失(臨時損失)の計上と任意積立金の取り崩しについて
- ⑲「経理規程」の一部改正について
- ⑳「職制規程」の一部改正について

- ㉑平成31年(2019年)9月14日付け為替店舗統廃合の実施について
- ㉒出資口数の減少(減口)の承認について
- ㉓行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ㉔地域・農業活性化積立金を活用したJA共済連助成金制度の平成31年度活用方針について
- ㉕平成31年度JAしまね「日本農業新聞」普及方針について
- ㉖平成31年度JAしまね「家の光三誌」普及方針について
- ㉗雲南地区本部「雲南すずらん福祉センター居宅介護支援事業所」および住宅型有料老人ホームの廃止について
- ㉘職員就業規則等の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

元気な島根を 応援します!

2019年度 地域貢献・地域活性化支援事業

JAしまねでは地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。

【対象団体】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）で、活動歴が5年以上あること。ただし、次の場合を除く。
①自治会、②過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

② 地域活性化活動支援

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）。ただし、次の場合を除く。①自治会、②氏子会、護国会、③過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

※なお、表彰や活動支援は、当該事業全体を通して、1団体1支援とします。

【募集期間】2019年5月13日(月)～7月31日(水)

【応募方法】お住まいの地区本部へ応募してください。

事業の詳細は、地区本部の地域貢献活動またはふれあい活動担当部署にお問合わせいただくか、JAしまねのホームページ <http://ja-shimane.jp/> でご確認ください。

【事業内容】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域への貢献や活性化に取り組むグループ・団体を表彰します。（副賞20万円）

② 地域活性化活動支援

地域への貢献や活性化に資する活動を維持・拡大または開始するための資金を支援します。（活動費用（飲食を除く）の2分の1。上限10万円）

支援総額

700万円

JA し ま ね

検索



胸部CT検診を受けてみませんか。

～早期の肺がんを見つけるには胸部CT検診が有効です!～

〈肺がんは部位別がん死亡者数第1位です!〉

	1位	2位	3位	4位	5位
♂男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
♀女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

〈肺がんの進行度別5年生存率※〉

(進行度)	早期	→	進行	
ステージ	I	II	III	IV
生存率	81.3%	47.9%	21.7%	4.8%

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

※5年生存率とは…がんと診断されてから、5年経過後に生存している割合

肺がんはがんによる死亡原因の第1位で、死亡者数は年々増加しています。肺がんは小さく転移がない早期の状態で見つければ、手術で完治する可能性が高まります。ただ、早期の段階では自覚症状があまり出ず気づきにくいので、検診で早く見つけることが重要です。胸部CT検診は肺がん発見率が胸部X線検査の約10倍で、早期の段階で見つかる可能性が高い検査です。

早期発見・早期治療のために「胸部CT検診」をお勧めします!

日程等はJA窓口にお問い合わせください。



J A 島根厚生連

全組合員調査のお願い

組合員の皆さまのご意見をお伺いする取り組み

JAは現在、全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施しています。調査では、現在JAが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



あすっこ入り海鮮塩焼きそば



●材料 (1人分)

中華麺……………	1玉	水……………	50cc
あすっこ……………	1/2束	ガラスープの素……………	小さじ1
シーフードミックス……………	100g	塩……………	小さじ1/4
もやし……………	1/2袋	こしょう……………	少々
		サラダ油……………	適量

●作り方

- ①あすっこの葉は4～5cm、茎は2cmぐらいに切る。
- ②もやしは洗い水気を切る。
- ③中華めん袋に穴をあけ、電子レンジ(600W)で1分加熱する。
- ④フライパンにサラダ油を熱しシーフードミックス、もやし、あすっこを炒め、中華めん、水、ガラスープの素、塩、こしょうを入れ味をととのえる。



中華めんをあらかじめ電子レンジで温められない場合は水の分量を増やしてください。あっさりさっぱり!でも、あとを引く味「海鮮塩焼きそば」塩焼きそばは、魚介とよく合います。

そらまめサラダ



●材料 (2人分)

そら豆……………	150g	酢……………	大さじ1	
ミニトマト……………	6～8個		塩……………	小さじ1/2
新玉ねぎ……………	1/2個		オリーブ油……………	大さじ3
			黒コショウ……………	少々

●作り方

- ①そら豆はサヤから出して、黒いつめと逆さに包丁を少し入れる。沸騰した湯に塩を入れ2～3分ゆで、ザルに上げ冷やし(水はかけない)皮をむく。
- ②ミニトマトは半分切る。新玉ねぎは繊維と直角に薄く切り水に軽くさらしてから水気を絞る。
- ③調味料をボウルに入れ泡立て器で混ぜ乳化させドレッシングを作り、水気を切ったそら豆、ミニトマト、新玉ねぎを入れ混ぜる。



甘くてほくほくしたそら豆をあっさり味のドレッシングで和えています。さわやかな初夏に合う料理です。そら豆は鮮度が命!サヤから出したら味も栄養価も低下するので、サヤから出したらすく調理しましょう。ゆで方は、皮に少し切れ目を入れて塩ゆですると、冷めても皮にしわがよらず、きれいにゆで上がります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直道 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐の島町にある玉若酢命神社の「馬入れ神事」です。島後三大祭りの一つ「御霊会風流」のハイライトである馬入れ神事では、8地区から集まった神馬が、鳥居の前から拝殿を目指して狭い参道を一気に駆け上がります。昭和40年5月に県の無形文化財に指定されました。

編集後記

気温も暖かくなり、今年も家庭菜園に何を植えようか悩む季節がやってきました。我が家の定番はミニトマトですが、一口にトマトと言っても様々な品種がありますし、育てたことのない野菜に挑戦したい気持ちも湧いてきます。素敵な出会いを求めて、産直へ出かけます!(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

